

第 11 回南丹市環境審議会 議事録

日 時	平成 29 年 2 月 8 日(水) 14 時 00 分～15 時 10 分
場 所	南丹市役所 1 号庁舎 防災会議室
出席者	【委 員】 <出席> 丹羽英之会長、小中昭副会長、宇野齊委員、藤田良則委員、松山豊樹委員、 宮田洋二委員、松田清孝委員 以上 7 名 <欠席> 阜正是委員 以上 1 名 【事務局】 (南丹市) 市民福祉部 弓削部長 市民環境課 石田課長、稲荷課長補佐兼環境衛生係長、平井主任、 足立主事 (委託事業者) 株式会社 サンワコン 森主任、吉川主査

1 開 会

2 会長挨拶

3 議事

(1) パブリックコメント等意見のとりまとめについて

【会長】

まず、『議事 1) パブリックコメント等意見のとりまとめについて』の説明を事務局の方からお願いします。

《事務局説明》

1) パブリックコメント等意見のとりまとめについて

資料 1、計画素案により説明

【会長】

パブリックコメント等意見のとりまとめについて、質問等あればお願いします。

《質疑応答》

【委員A】

資料-4の「各地域の環境保全活動の紹介」について、各活動組織の名称を記載することは可能でしょうか。

【回答：事務局】

活動組織について、大半は把握していますが、把握していない活動組織もあります。全ての活動組織名を記載した場合、組織の記載漏れが生じる可能性があるため、今回は活動内容のみに留めております。

【委員A】

ここに記載している活動内容を広報誌などを通じて発信し、市民の環境保全活動に対する理解と参加意欲を高めていただけたらと思います。

【会長】

今いただいた意見は重点プロジェクト1にも関わってきますので、事務局には是非取り組みを進めていただきたいと思います。

【委員B】

計画素案のp67に「Jクレジット」「オフセット」という単語が記載されていますが、市民には分かりづらいと思いますので、用語解説をいれてはどうでしょうか。

また、BDFのブランド化とは、どのようなことを想定されているのでしょうか。

【回答：事務局】

「Jクレジット」「オフセット」については、用語解説を追加させていただきます。また、BDFのブランド化について、通常、BDFは自動車の燃料として利用されていますが、本市では、自動車だけでなく、農用機械の燃料にも利用することを目指しており、BDFを活用した農用機械でつくられた農産物をブランド化していこうという取り組みです。これについては、誤解のないよう表現を修正させていただきます。

【委員A】

現在、市としてJクレジットの活用を検討しているのでしょうか。

【回答：事務局】

現状は何も検討しておりません。

【委員A】

市としてJクレジットを進めるのか、または、Jクレジットに代わる取り組みを進めるのか検討した方がよいと思います。

(2) 南丹市環境基本計画概要版の確認について

【会長】

続いて、『2) 南丹市環境基本計画概要版の確認について』の説明を事務局の方からお願いします。

《事務局説明》

2) 南丹市環境基本計画概要版の確認について

概要版により説明

【会長】

南丹市環境基本計画概要版の確認について、質問等あればお願いします。

《質疑応答》

【会長】

計画本編については希望者に有料で配布、概要版については、前回の計画では全戸配布しましたが、今回は1,000部印刷したものを窓口置き、希望者に配布するというのでよいですね。

【委員B】

概要版のp7「私たちにできること」について、上記に記載されていることは「家庭でできること」、下記に記載されていることは「家庭でできないこと」という解釈でよいのでしょうか。

また、エコドライブについてもp4とp7両方に記載があり、記載の仕方を工夫した方がよいと思います。

もう一点、p5の「重点1 なんとん環境の輪づくりプロジェクト」について、ピラミッド型の図を記載していますが、他のプロジェクトと同様に写真を記載した方がよいと思います。

さらに、p6の「南丹市が排出している温室効果ガスの量」について、このタイトルでは市役所が排出している温室効果ガスと誤解される可能性があるため、表現を修正した方がよいと思います。また、グラフやコメントについて、数値や年度の表記を統一してはどうでしょうか。

家庭から排出される温室効果ガスについて、家庭部門だけを対象にしていますが、本当ならば運輸部門の家庭用自動車から排出される温室効果ガスも含まれるということを考慮する必要があると思います。

【回答：事務局】

審議会は今回が最後となりますので、いただいた意見につきましては、検討・修正した後、修正版を委員の皆さまに郵送させていただき、さらに意見があるようでしたら連絡いただき対応したいと考えております。

【会長】

概要版について、各基本目標、重点プロジェクトの取り組みが記載されていますが、実際に市民が参加しようと思った時に、このホームページを見れば参加したい取り組みの団体などと連絡がとれる、といった、具体的な取り組みに繋がる工夫があるとよいと思います。

また、市民が何人家庭でできるエコ行動に取り組めば、温室効果ガス排出量削減目標の達成できるといった、イメージがつかめる工夫があるとより理解しやすくなると思います。

【委員B】

会長の言うとおりの、ただ計画の概要をまとめるのではなく、市民に関心を持っていただく資料にした方が効果的だと思います。

あと、p7で二酸化炭素の削減量を示していますが、一般の方はイメージがわからないと思いま

す。よく使う手法として、一本の木が一年間に吸収する二酸化炭素の量が17kgというものがあるので、木が吸収する量と比較をすると分かり易くなると思います。

【委員C】

二酸化炭素だけで言われると理解しづらいですが、木が吸収する量との比較があれば、イメージとして分かり易く、よいと思います。

【委員A】

概要版をただ配布するだけでは意味がなく、市民の意識啓発や環境保全活動への参画など、次のステップに繋げるための概要版とすることが重要だと思います。

【委員B】

例えば、今は「基本目標」に2.5ページ使っていますが2ページ見開きにして、私たちにできることの内容をもう少し減らし、重点プロジェクトとあわせて、取り組みの紹介などを盛り込んでみてはどうでしょうか。

【会長】

概要版を環境基本計画のPR冊子と捉えて、数値的なものは極力減らし、市民にやってほしいことや環境保全活動の取り組みに繋がることを記載すれば意味のある資料になるのではないのでしょうか。

【委員A】

地球温暖化対策などの取り組みを普及させるには、ただ概要版を配布するだけでなく、p7の取り組みなどを広報誌で何回も発信していくことが重要だと思います。

【回答：事務局】

本日いただいた意見につきましては、事務局内で検討させていただきます。

4 その他

【事務局】

今後の予定としまして、答申は2月21日（火）を予定しており、当日は会長・副会長に出席いただくことを考えております。計画本編の修正につきましては、答申までの時間の関係上、会長・副会長に確認を一任するというので、ご了解の程よろしくお願い致します。

【委員A】

概要版の製本については、どのようにされるのでしょうか。

【回答：事務局】

概要版は、前回の概要版と同様、厚紙で冊子状のものになります。

【委員B】

今後の計画の推進について、市はどのように考えているのでしょうか。

【回答：事務局】

計画に示しているとおおり、南丹市環境パートナーシップ会議に向けた体制づくりや、委員への年次報告等を検討していきたいと考えております。

【委員A】

ソーラーパネルの設置について、既に条例を設けているのでしょうか。エコツーリズムなどを実施する時に、ソーラーパネルがあると景観を損ねる可能性があるのではないのでしょうか。

【回答：事務局】

現状、景観に関する規制はありますが、大規模ソーラー発電に関する規制はありません。今後、大規模ソーラー発電の規制の必要性について、関係部局と検討する必要があると考えております。

5 副会長挨拶

6 閉会